

科 目 名
選択外国語 I Selective Foreign Language I (韓国語)

3年 前期 2単位 選択

申 明 直

概 要

「韓国語 I」では、韓国語の「ハングル」の読み書き、簡単な会話を学ぶ。また、インターネットでハングルを入力し、自分で簡単な韓国関連の情報を調べられるようにする。韓国の歌などの文化を通し、韓国語を楽しく学ぶ。

目 標

- (1) 韓国語のハングル文字を読む。
- (2) 韓国語で簡単な挨拶や自己紹介ができる。
- (3) 韓国語によるインターネット検索や韓国の歌など韓国文化を理解する。

授業計画

テ ー マ	内 容
① 1部第1課 (基本母音字)	韓国語の基本母音字を学ぶ
② 1部第2課 (基本子音字)	韓国語の基本子音字を学ぶ
③ 1部第3課 (濃音)	韓国語の濃音を学ぶ
④ 1部第4課 (合成母音字)	韓国語の合成母音字を学ぶ
⑤ 1部第5課 (終声：パッチム)	韓国語の終声：パッチムを学ぶ
⑥ 1部第6課 (発音のルール)	韓国語の発音ルールを学ぶ
⑦ 総合練習・中間テスト	
⑧ 2部第1課 (文型)	助詞(～は/～も)の韓国語表現
⑨ 2部第1課 (会話)	「～です/～ではありません」の韓国語表現と会話
⑩ 2部第2課 (文型)	助詞(～が/～の)の韓国語表現
⑪ 2部第2課 (会話)	「これ/それ/あれ/どれ」の韓国語表現と会話
⑫ 2部第3課 (文型)	「ここ/そこ/あそこ/どこ」の韓国語表現
⑬ 2部第3課 (会話)	漢数字の韓国語表現と会話
⑭ 総合練習	簡単な自己紹介

評価方法

宿題、出席、中間及び期末テストの成績を通じて総合的に判断する。

教 材

テキストは金 東漢・張 銀英(共著)『改正版 韓国語レッスン初級 I』スリーエーネットワークを使い、参考書は油谷幸利『朝鮮語入門』ひつじ書房、辞書は油谷幸利 他編『朝鮮語辞典』小学館(あるいは電子辞書)が好ましい。テキストの別売 CD も参考にしてほしい。

履修上の注意

基礎ではなにより、復習が大事である。テキストと共に関連 CD をよく聞いて CD と同じように言えるまで復習してもらいたい。また、ハングル文字は書きながら覚えるのが一番の近道である。インターネット、韓国の歌、映画などを利用することも良い方法の一つである。